

会 議 録

会議名	平成 27 年度第 1 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開催日時	平成 27 年 6 月 16 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分	
開催場所	東浦町中央図書館 2 階小会議室	
出席者	委員	青木美奈子氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、梶山博史氏、恒川里美氏、松下玲子氏、村田莉恵氏、鷹見みゆき氏、仲川貴子氏、山本恵理氏
	事務局	長坂教育部長、成田図書館長、大塚係長、万徳図書館指導員
議 題	1 平成 27 年度実施計画について 2 その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>○平成 27 年度実施計画について、関係各機関の取組を、資料もとづき事務局より説明</p> <p>○「ブックスタート」は 4 か月健診の乳幼児が対象なので、読み聞かせをしても子どもにはピンと来ていないようであるが、母親へのアピール度が高く、その後の図書館の読み聞かせなどでの参加度を高めていると考えられる。</p> <p>○第二次推進計画の 7 ページに課題として、小学校高学年以上に対する親子読書の工夫が必要とあるが、今回の計画との関連はどうか、また読書感想文の問題についてもどうかという質問に、事務局より説明する。</p> <p>・高学年の親子読書の問題や読書感想文の問題への対応は、昨年度同様いろいろと取り組んでいるが、さらに良案があれば歓迎したい。全体としての取組は、第二次推進計画に沿って大きく成長しつつある中で、これらの問題も良い方向へ向きつつあると思っている。</p> <p>○保育園の中には図書の貸し出しをしていないところもあるようだが、という質問に対し、他の委員が説明する。</p> <p>・園の事情によっては、図書の貸し出しをしていない保育園もある。</p> <p>○同じ本を親子で読んで意見交換し、夏休みの宿題で親子とも提出という課題があったが、親子読書推進には効果的だったように思う。朝読で読んだ本を保護者に伝えることで、保護者もそれらの本に目を通すことができ、親子の対話が広がることもあった。本を題材にした親子の対話を進めることは大切だ。</p> <p>○「家族読書」が効果的だった。「親子読書」より広い概念で、子どもが兄弟や親に読んで聞かせるケースなども含まれる。こういう活動を知らせていくことも大切である。</p>	

- 藤江小学校の図書館は、休日も一定時間帯で地域開放されているので、児童館も利用させてもらっている。図書の貸し出しも利用させてもらっている。読んだ本の感想などを児童館に掲示し、保護者に見てもらおうなども行っている。
- 4週間貸出の「親子図書」では、対話しながら選書に時間をかける親子の様子が微笑ましい。選書に時間をとるゆとりのない保護者もあるのが悩ましい。
- 保育園では、習い事のある子も多く、夜は9時には寝かせたいという思いもあり、なかなか読書活動に時間を取るのが難しい。
- 図書館の読み聞かせでも水曜日は多いが土曜日は少ない。土曜日は忙しい親子が多いのだろうか。
- 「ブックスタート」はよい取り組みだと思った。駅や病院の待合などで、子どもにスマホを与えて遊ばせている母親を見かけるが、絵本の読み聞かせをする姿がもっと見られるとよい。小中学生は自分の力で読めるようになるが、中学生などは重い内容のものも読ませたい。子どもが読書する姿で家庭や保護者も変わっていきけるようになるとよい。
- ・「ブックスタート」は本来、絵本をプレゼントするところから始まったものようだが、本図書館では、本を図書館から借りてもらうというところに力を置きたいと考えて実施している。